

■「岩倉市公共施設再配置計画（案）」に対するご意見と市の考え方（対応一覧）

No.	ページ	分類	意見項目	意見の要旨	市の考え方
1	1	第1章	2.計画の位置付け	「公共施設再配置計画」が「公共施設等総合管理計画」に基づき、「公共施設長寿命化計画」等との整合性をとったものとしては評価できる。	岩倉市公共施設再配置計画は岩倉市公共施設長寿命化計画とともに、岩倉市公共施設等総合管理計画を上位計画として策定しているため、それぞれの計画について、互いに整合性を取っています。
2	2	第1章	3.計画期間	計画期間を40年としたことはあまりに長すぎるように感じるが、トータル費用の分割・均平化・低減化の観点からやむをえない。5年ごとの見直しを確実にし、必要に応じて的確な対応を期待する。ただし、財政その他の理由で期間延長が生じないよう配慮が必要。	今後は5年間隔を目途に計画の見直しを行うことで、社会情勢や財政状況等の変化に対応していきます。
3	2	第1章	4.縮減目標	床面積の縮減については、人口の大幅な減少や財政見通しを配慮すると13%よりオーバーしてもよいのではないかと。	床面積の縮減目標については、岩倉市公共施設等総合管理計画において、今後40年間の公共施設等の更新等にかかる経費と将来の財源の見込みから設定しました。 なお、今後の社会情勢や財政状況、計画の進捗状況等により見直しをすることも考えられます。
4	8	第2章	2.人口の見込み	2055年度までの老人・生産年齢・年少の各人口比率動向が、当市の財政に大きな影響を及ぼすので、人口動向については厳しく見るべきである。	岩倉市公共施設再配置計画では、人口の見込みは「岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における将来推計値を用いています。 計画の見直し時には、最新の人口の見込みの数値を用いて検討していきます。
5	10	第3章	1.公共施設の目指すべき姿	目指すべき姿で重要なことは市民ニーズの予測とこれに対する市政のあり方であり、40年間の動向を的確に把握することは不可能。脱公共サービスも必要で、市民活動など市民が自ら提供するサービスの実現も考慮した計画が望ましい。 余剰資産については、活用ありきではなく削減も考慮したい。	今後は5年間隔を目途に計画の見直しを行うことで、市民ニーズ等の変化に対応していきます。 また、余剰となった公共施設等については民間事業者への貸し付けや譲渡などによる財源確保を検討していきます。
6	11	第3章	2.公共施設再配置計画の基本方針	基本方針については、謳われているように積極的な複合化が望ましい。留意すべきは利用の効率化・地域特性に主眼を置いた多機能複合施設（例えば小学校と保育園の統合化など）を考慮することが望まれる。 長寿命化に関して、事後保全型管理で60年を目指すためには予防保全型同様、中間時点で多少手を加える必要が想定される。	施設の複合化の検討にあたっては、市民サービスの向上が期待できるかという点も含め、検討していきます。 事後保全型管理で対応する施設に関しては、従来どおり日常修繕を実施し、施設の機能が損なわれないよう留意します。

No.	ページ	分類	意見項目	意見の要旨	市の考え方
7	13	第4章 2.一次評価の方法	(1) 一次評価の方法	<p>評価の流れとしては理解できる。ハード、ソフトに分けて結果をA・B・C・Dにランク付けするのもよいが、厳密に言えば、同一施設において長期間におけるハード・ソフトの相互影響まで考慮すべきケースもあるので画一的な評価には疑問も残る。評価偏差値で考慮することができればよいのではないか。</p> <p>D評価施設を譲渡・廃止にすることには同意。ただし譲渡施設の継続使用に関し、補助金など市の多額の負担が生じない方策の確立が要件。判定結果の算定は、本書に示された分析手法（ポートフォリオ）ではやや理解困難だがやむを得ない。</p>	<p>ポートフォリオ分析により、統一的な基準で施設を評価し、施設の持つ課題を抽出することできると考えますが、改めて施設評価を実施する際は、ポートフォリオ分析と別の評価方法を併せて用いることも検討します。</p> <p>D評価の施設については、譲渡を検討する際に市や利用者に負担が生じないように留意します。</p>
8	24	第5章	2.二次評価の方法	<p>二次評価は、対象施設に導入する具体的な方策を決定する上で重要な意味を持つと考えられ、その点では説得力のある評価がなされていると判断できる。</p> <p>評価項目においても、対象施設の必要性・特定の機能・複合化などへの対象施設の有無など細かく区分し、ネットワーク化（経系・横系的分析）して評価しているのでおおよそ理解ができた。</p> <p>サービス面での必要性に関して、軽視しがちなボランティア活動・市民活動の拠点にも注目されているのは大いに評価できる。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、より適切に施設の評価を実施できるよう検討していきます。</p>
9	33	第6章 1.共通事項	(1) 公共建築物の耐用年数の考え方	<p>耐用年数と管理方針については「事後保全型管理」と「予防保全型管理」を組み合わせることは妥当と考える。ただし、法定耐用年数との対応を考慮する必要がある。特に譲渡する場合の現価が重要。</p>	<p>施設を譲渡する際は、その時点での施設の現在価値を適切に判断し検討していきます。</p>
10	34	第6章 1.共通事項 (3) 再編に向けた検討事項（共通事項）	PFI導入の可能性	<p>対象施設の複合化などにおいては、記載されているようにPFIの積極的な導入を望む。</p>	<p>施設の複合化等にあたっては、PFIの導入も含め、効率的かつ効果的な手法を検討していきます。</p>
11	36	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (1) 市民文化系施設（集会施設、学習等共同利用施設）	③再配置方針	<p>集会施設・学習共同利用施設については利用者が地区住民に限定されているので、各地区に譲渡する方針は妥当であるが、すべて同時期（第3期）とする必要があるかどうか。経過年数は大半が30年前半であるものの、将来の受け入れ側（各地区）の管理能力および施設の利用状況を考慮のうえ、第2期に繰り上げるほうがメリットを追求できるように感じる。</p>	<p>集会施設・学習等共同利用施設の譲渡の時期については、建築後の経過年数が60年となる時期までを原則としています。そのため、譲渡の条件等を区と協議する中で譲渡の時期を繰り上げることも考えられます。</p>

No.	ページ	分類	意見項目	意見の要旨	市の考え方
12	37	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (1) 市民文化系施設 (集会施設、学習等共同利用施設)	④再編に向けた検討事項	年月が経つと会館の修理や建て替えなどに多額の費用負担が地元住民にかかる恐れがありますので地元譲渡は考え直してほしい。	施設の譲渡にあたっては、施設の建替えや大規模改修の実施の有無や実施する場合の条件などについて、区と協議する必要があると考えます。 なお、集会施設および学習等共同利用施設の修繕については協定により、市が費用の2分の1を負担することとなっています。
13	39	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (2) 市民文化系施設 (文化施設)	④再編に向けた検討事項	市民プラザに関しては、会議室とホールに重点を置いて生涯学習センターや総合体育文化センターとの複合化更新がうかがわれるが、これらの施設の容量（利用可能性）からは限界がある。むしろ同一場所での図書館との重複化が好ましく、ボランティア活動・文化活動拠点に位置付けたい。ロードマップにおいては市民プラザが第2期、図書館が第3期となっている。実質的には両施設の利用上の不便等を考慮して同時（第2期と第3期接続時期）に実施することが望ましい。	市民プラザについては計画期間の第2期（2027年度～2036年度）に複合化を検討するものとしています。また、岩倉市公共施設再配置計画については2026年度に第2期の計画を策定することとしており、複合化の対象施設や実施時期についても改めて検討していきます。
14	42	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (4) 社会教育系施設 (その他社会教育系施設)	③再配置方針	青少年宿泊研修施設希望の家は施設・管理ともに民間譲渡が望ましい。隣接地域に企業誘致の具体化が進められているため、これに伴う新しいニーズや利用率アップも期待できる。	今後、再配置計画案に基づきサウンディング調査を実施する中で、施設の利用可能性について検討していきます。
15	42	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (4) 社会教育系施設 (その他社会教育系施設)	③再配置方針	青少年宿泊研修施設希望の家は市内唯一の公共宿泊施設であり、大変貴重な存在であると思います。子ども会の方も利用されるし、他の市町村の方も利用されていると聞いています。民間譲渡になれば使用料が上がり修理などもなかなかおぼつかなくなり困る状態が見込まれます。民間譲渡はしないでほしい。	青少年宿泊研修施設希望の家については、夏休みや休日は一定の利用はあるものの、全体として利用状況が低迷している現状があります。そのため、民間活力を活用することでより市民ニーズに沿ったかたちでの施設運営を検討していきます。
16	46	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (6) 学校教育系施設 (学校)	③再配置方針	岩倉東小学校は生徒数の減少に伴う教育施設機能低下を、施設規模縮小と多目的利用拡大が大いに望まれる。利用目的として多世代交流施設（特に老人相互および老人と児童）博物館（歴史資料館など）、国際交流・文教地区の拠点機能充実などが想定される。	施設の複合化の検討にあたっては、市民サービスの向上が期待できるかという点も含め、市民の皆様からご意見をいただきながら検討していきます。
17	49	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (8) 子育て支援施設 (保育園)	③再配置方針	保育園については、保育園ごとの統合化が考慮されているが、小学校との統合も考慮することが望ましい。保安・ユーティリティの効率運用、駐車場問題解消策などのメリットもあろう。	施設ごとの方針については、2026年度の第2期の計画策定時に社会情勢や市民ニーズ等を踏まえ、保育園の統合や小学校との複合化についても改めて検討していきます。

No.	ページ	分類	意見項目	意見の要旨	市の考え方
18	49	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (8)子育て支援施設(保育園)	③再配置方針	<p>保育の規模が50人前後の小規模保育は、予算がかかるかもしれませんが、死角が少なくなる、先生や保護者の目が行き届く、支援児が生活しやすいなど、保育の質・ソフト面でメリットが多く、保護者の満足度も高い傾向があります(保育園・認定こども園の利用実態等に関するアンケート結果より)。この小規模保育こそが、岩倉の保育の特徴のひとつであると思っておりますが、この岩倉市公立保育園適正配置方針では、小規模保育が失われる、縮小する可能性が高いです。特に西部保育園に関しては、存続を願う声が多数寄せられており、「西部保育園の維持存続を求める請願」が400名以上の連名で提出され、全議員一致で「趣旨採択」をいただいております。どうか、中部保育園に吸収されることなく、地域の方や保護者に愛され続けた西部保育園の建て替えを早急にお願いたします。</p>	<p>西部保育園に限らず岩倉市の公立保育園は、近隣自治体に比べて1園あたりの園児数が少なく、全体として小規模な保育を実施しています。保育の質につきましても、公立園だけでなく私立の保育園や認定こども園と相互交流や研修を行いながら、市全体としての質の向上を図っています。</p>
19	49	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (8)子育て支援施設(保育園)	③再配置方針	<p>西部保育園を今の環境、規模でぜひ残してほしいです。</p> <p>こんなにアットホームで先生と保護者が団結でき、子ども達にとってとても素晴らしい保育環境はありません。是非このままの(保育、保育環境←内面)西部保育園であって欲しいです。</p> <p>岩倉市の保育士さん達の保育や親との関係の『研修の場』として是非、西部保育園を残して使って欲しいくらいです。</p>	<p>こうした評価を皆様からいただいている点については、岩倉市公立保育園適正配置方針の策定の際にもご意見をいただきながら、「特別な支援を要する子どもへの支援」、「子育て困難家庭への支援」など、公立保育園が持つべき役割を堅持し、きめ細やかな保育の実現に配慮するとしています。</p>
20	49	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (8)子育て支援施設(保育園)	③再配置方針	<p>西部保育園はとてもアットホームで良い保育園だと聞いて、西部保育園に入園致しました。</p> <p>とても小さな保育園でしかも古く決して綺麗とは言えませんが、何処からでも園全体が見渡せ、少人数でほぼ全員のお名前を先生も子ども達も分かっていますすごいなと思いました。</p> <p>小さな保育園だからこそ先生方が心に余裕を持ってくださり、それが母達にも伝わるから西部保育園は良い園なのだと思います。</p> <p>これから岩倉市で赤ちゃんを産み育てながら働く父母の為に、全てを大きな保育園にしてしまうのではなく、少人数の保育園を選ぶ選択肢として西部保育園を残していただきたいです。</p> <p>綺麗で大きな保育園で育てたい母もいれば小さな保育園で育てたい母もいます。保育に恵まれた岩倉市で贅沢な事かもしれませんが、そんな保育園を残しておいていただきたいです。</p> <p>現場の先生方の意見に声を傾けていただきたいです。</p>	<p>今後、事業の実施にあたっては、市民の皆様からご意見をいただきながら検討していきます。</p>

No.	ページ	分類	意見項目	意見の要旨	市の考え方
21	49	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (8)子育て支援施設(保育園)	③再配置方針	<p>私は名古屋市から転居してきた者ですが、名古屋市の保育事情と西部保育園とがあまりに違い過ぎて、とても温かい市だと思っていました。第二児童館についても同じです。そして名古屋の知り合いのお母さんに、西部保育園の良さをいつも話しています。本当に子どもを入れて良かったと思っています。</p> <p>だから、岩倉市の誇りとも言える西部保育園をなくさないでください。あそこで育った子どもは、きっと岩倉市を盛り上げられる大人に成長すると思います。</p>	
22	49	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (8)子育て支援施設(保育園)	③再配置方針	<p>名草線より西側唯一の保育園である西部保育園の廃園に反対します。</p> <p>子ども達への尽力は惜しむことなくするべきだと思います。果たして縮小・廃止は未来ある子ども、未来の岩倉のためなのでしょうか。岩倉市は子ども達へは力を貸さないとしか受け取れません。</p> <p>施設の安全面を考慮しているのはわかりますが、今の子ども達が未来の岩倉を支えます。子ども達の親が岩倉を愛することができれば、その子ども達も同じ思いになるでしょう。</p> <p>子どもが安心して暮らせる、我が子を岩倉の保育園に通わせたいと、他県・他市の方々が憧れる岩倉を作ることが必要なのではないのでしょうか。</p> <p>この先子ども達が減少していくと推察してお考えだとは思いますが、どうしたら右肩下がりの子ども人口を右肩上がりになるかをお考えいただきたい。待機児童0でもない現状ではこの案はいかがなものなのでしょう。</p> <p>そしてなにより、公立保育園に通わせた保護者、卒園した子ども達は保育園の廃止、縮小に非常にがっかりしております。</p> <p>市民一人ひとりに寄り添う、理解ある結論となることを祈ります</p>	<p>西部保育園に限らず岩倉市の公立保育園は、近隣自治体に比べて1園あたりの園児数が少なく、全体として小規模な保育を実施しています。保育の質につきましても、公立園だけでなく私立の保育園や認定こども園と相互交流や研修を行いながら、市全体としての質の向上を図っています。</p> <p>こうした評価を皆様からいただいている点については、岩倉市公立保育園適正配置方針の策定の際にもご意見をいただきながら、「特別な支援を要する子どもへの支援」、「子育て困難家庭への支援」など、公立保育園が持つべき役割を堅持し、きめ細やかな保育の実現に配慮するとしています。</p> <p>今後、事業の実施にあたっては、市民の皆様からご意見をいただきながら検討していきます。</p>
23	49	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (8)子育て支援施設(保育園)	③再配置方針	<p>西部保育園の統合に反対です。</p> <p>請願で決定の延期を求めて趣旨採択をもらったのに、1月10日に方針決定したと聞きとても悔しいです。</p> <p>どうか西部保育園を残して存続してください。</p>	

No.	ページ	分類	意見項目	意見の要旨	市の考え方
24	49	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (8)子育て支援施設(保育園)	③再配置方針	<p>保育園の統合計画に関して、西部保育園の統合は反対です。唯一の名草線西側の保育園として残してほしいです。その理由として</p> <p>1.これからの将来、労働人口が減少することが予測されています。それにともない、共働き夫婦が増えると保育園の需要は増すと考えられます。</p> <p>また、名草線西側は住宅が増えています。小さな子どもを持つ世帯が増えています。今の保育園児が大人になったときに、その場に住み続けてもらうことを考えれば、保育園が近くにあることは大きなメリットとなります。</p> <p>2.名草線西側の住民にとっては、名草線を越えないで済むメリットがとても大きいです。特に朝や夕方の車が混雑する名草線を越えるのは一苦勞です。「いわくらしやすい」をかかげるのであれば、岩倉市民みんなが住みやすい市を基準としてください。</p>	<p>西部保育園に限らず岩倉市の公立保育園は、近隣自治体に比べて1園あたりの園児数が少なく、全体として小規模な保育を実施しています。保育の質につきましても、公立園だけでなく私立の保育園や認定こども園と相互交流や研修を行いながら、市全体としての質の向上を図っています。</p> <p>こうした評価を皆様からいただいている点については、岩倉市公立保育園適正配置方針の策定の際にもご意見をいただきながら、「特別な支援を要する子どもへの支援」、「子育て困難家庭への支援」など、公立保育園が持つべき役割を堅持し、きめ細やかな保育の実現に配慮するとしています。</p> <p>今後、事業の実施にあたっては、市民の皆様からご意見をいただきながら検討していきます。</p>
25	49	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (8)子育て支援施設(保育園)	③再配置方針	<p>西部保育園の統廃合に反対です。西部保育園の存続を望みます。西部保育園を統合という形ではなく、建て替えてほしいです。</p>	
26	49	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (8)子育て支援施設(保育園)	③再配置方針	<p>兄弟のように年上の子が年下の子をいたわり、年下の子は年上の子を慕い、先生がその関係にうまく関わってくださり、自然に子ども達の中に優しさが育っているような気がします。保育園がまるで大きな家族の様です。これは異年齢保育であり、小規模であるからだと思います。そして先生方が子ども達全員を知っていて、子ども達も全員の先生を知っている。これはすごいことだと思います。先生方と子ども達の距離が近いです。親にも言える事で、先生と親との距離も近いと思います。「行ってらっしゃい」「お帰りなさい」と毎日声をかけていただき、毎日子どもの様子を伝えていただき、安心してお任せしています。岩倉市の保育は「質が高い」と言われるのが、この西部保育園に通わせていただき納得です。</p> <p>老朽化はやはり心配なところですが、子ども達、そして働いてみえる先生方の安全が第一です。形は変わったとしても、この西部保育園のように小規模で親が先生方を信頼して、安心して大切な子ども達を預けられる保育園は残して欲しいと思います。</p>	

No.	ページ	分類	意見項目	意見の要旨	市の考え方
27	49	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (8)子育て支援施設(保育園)	③再配置方針	<p>本当に西部保育園はとてもいい保育園です。縦割り保育の良さを、皆さんに分かってほしいです。上の子が下の学年の子を助け、やさしく教えて、下の子は上の学年の子のすることを見て学び、助け合って毎日を過ごしています。そして、それを支える先生方も保護者の方もみんなが見守ってくれています。こんなにいい保育園をなくさないで欲しいです。西部保育園の素晴らしいところをみんなに知ってもらいたいです。本当にこんなに素敵な保育園はないです。この縦割り制度をなくさないで欲しいです。</p>	<p>西部保育園に限らず岩倉市の公立保育園は、近隣自治体に比べて1園あたりの園児数が少なく、全体として小規模な保育を実施しています。保育の質につきましても、公立園だけでなく私立の保育園や認定こども園と相互交流や研修を行いながら、市全体としての質の向上を図っています。</p>
28	49	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (8)子育て支援施設(保育園)	③再配置方針	<p>西部保育園をぜひ残してください。名草線より西側に保育園が少ないし、一宮方面などそちらにお仕事に行かれる方も少なくありません。北島の方もとても必要だと感じられています。</p> <p>市中心市街地に保育園を固めると、車通勤の方には近所とのトラブルもさらに増える可能性も考えられます。</p> <p>現在の西部保育園でもトラブルがないとは言いきれませんが、環境は父母にとっても子ども達にとってもとてもありがたい環境です。</p> <p>先生たちも縦割り保育でのびのびと保育されている印象です。大規模の集団生活も大事ですが、グレーゾーンと言われる子は現在かなりの割合で見られます。そんな子ども達にも寄り添ってのびのびと成長できるのは西部保育園だけだと感じています。大人数だとしていけず、特に目立たない子は先生にも気がついてもらえずどんどん遅れてしまっていたと思います。</p> <p>財政面など難しいこともありますが、こんないい保育園をなくしてしまうのはよくないと思います。岩倉市子育てしやすい町を胸を張って他の地域に言えるよう、素敵な保育体制を望んでいます。</p>	<p>こうした評価を皆様からいただいている点については、岩倉市公立保育園適正配置方針の策定の際にもご意見をいただきながら、「特別な支援を要する子どもへの支援」、「子育て困難家庭への支援」など、公立保育園が持つべき役割を堅持し、きめ細やかな保育の実現に配慮するとしています。</p> <p>今後、事業の実施にあたっては、市民の皆様からご意見をいただきながら検討していきます。</p> <p>なお、異年齢保育については2019年2月現在、市内の公立保育園4園で実施をしており、2019年4月より全園で異年齢保育を実施する予定です。</p>

No.	ページ	分類	意見項目	意見の要旨	市の考え方
29	49	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (8)子育て支援施設(保育園)	③再配置方針	<p>保育園の統廃合について署名などを行ってきたが、全く意見は聞いてもらえていない。</p> <p>岩倉の保育の質は他の市よりとてもいいと思う。環境だけを良くしても質のいい保育はできない。新しくすればいいと言うだけではない。保護者からの意見なのでもっと耳を傾けて欲しい。卒園した子どもが今でも保育園にまた行きたいと思うぐらい質のいい保育である。老朽化だけで統廃合をするのは違うと思う。</p>	<p>事業の実施にあたっては、市民の皆様からご意見をいただきながら検討していきます。また、複合化等を実施した場合においても、これまでと同様の質の高い保育を実施できるよう努めます。</p>
30	49	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (8)子育て支援施設(保育園)	③再配置方針	<p>保育園については統廃合で一律に見直すのではなく、リフォーム(メンテナンス)での対応を広く取り入れるべき。</p>	<p>耐用年数が近づき老朽化が著しい施設に対し、リフォームやメンテナンスで対応することには限界があると考えます。そのため、耐用年数が近づいた施設については、施設の更新を実施し、併せて施設の統合や複合化を検討していきます。</p> <p>また、施設の管理については、今後は施設の機能や劣化が進行する前に適切な対応を行う「予防保全型管理」へと転換し、施設の長寿命化を目指していきます。</p>
31	57	第6章 2.施設分類別の再配置方針 (13)保健・福祉施設(保健施設) ④再編に向けた検討事項	複合化の検討	<p>岩倉市の保健センターについては、他の多くの自治体と異なり集団健診を行っています。特定健診時の混雑する待合室での居心地の悪さや駐車スペースが少ない等の問題から健診を受けること自体を躊躇するケースもあり、こちらは早期に改善策が必要だと痛感しています。</p> <p>保健センター・休日急病診療所とも、市民の健康維持に直結するサービスであり、市内に重複した機能を持つ施設がなく、手狭でその機能を十分果たせていない現状を考えると、医療・保健施設の大幅な縮減には同意しかねます。財源不足が深刻であることは承知しており、効率性を考えると複合化の方針を完全に否定するつもりはありませんが、複合化に伴う課題は大きいのではないのでしょうか。例えば、同一建物内であって疾病患者とそれ以外の者(健診やその他の用で訪れる者)との動線を完全に分離しなければならず、その為に必要な場所・構造の確保が可能であるかということ。もう一つは、ふだん稼働率が高い総合体育文化センター(7,967㎡)に、保健センター(現在1,274㎡)と休日急病診療所(現在248㎡)を市民や関係者のコンセンサスを獲得して複合化するのは難しいプロセスではないかと思われます。従って総合体育文化センターへの複合化については、見直しを含めた再検討を強くお願いしたい次第です。</p> <p>「健康都市 いわくら」の宣言にある通り、健康に力点を置く岩倉市を象徴するような、保健センターと休日急病診療所の施設更新について議論をすすめ、第2期の早期に再編を実現する準備をお願いしたい。</p>	<p>総合体育文化センター、保健センターおよび休日急病診療所については、計画期間の第2期(2027年度～2036年度)に複合化(集約化)を検討するものとしています。また、岩倉市公共施設再配置計画については2026年度に第2期の計画を策定することとしており、これらの施設の方針についても改めて検討をすることとなります。</p> <p>なお、44ページの総合体育文化センターの④再編に向けた検討事項において、「類似の目的を持つ施設との複合化(集約化)を検討します」と記載していること、ご意見にありまますとおり、複合化に必要な場所の確保が可能かという点から、57ページの保健センターの④再編に向けた検討事項の記載を「総合体育文化センターへの複合化」から「総合体育文化センターへの複合化(集約化)」へ表現を統一いたします。</p>

No.	ページ	分類	意見項目	意見の要旨	市の考え方
32	58	第6章 2.施設分類 別の再配置 方針 (14) 医療 施設	③再配置方針	<p>第2期に複合化が検討されている休日急病診療所の役割については、2045年にかけて老年人口が増え続ける岩倉市の高齢化事情や、大病院受診にかかる選定療養費制度の導入、地域で医療を完結することが求められる地域包括ケアシステムの推進、休日に対応できる病院・医院が市内にないといった状況下で近年ますます重要となってきています。このため、休日急病診療所の機能の充実には市民だけでなく、救急に携わる近隣の大病院からのニーズ・期待も高いと考えています。</p> <p>一方で現在の休日急病診療所には、感染性疾患に対応できる隔離された待合室がない、横になったり点滴をしたりする個室がないといった不都合な点、空調設備の不備や老朽化による見目の悪さ、待合室の狭さ、認知度の低い立地などの条件が重なり、市民にとって満足できる施設とは言えない印象です。</p> <p>今後の施設更新にあたり、上記やその他問題点を十分精査・改善をしていただきたい所存です。さらに、災害医療の活動拠点としての機能充実、岩倉市在宅医療介護サポートセンター（現岩倉病院）の拠点施設になりうるような付加的機能を強く望みます。</p>	<p>休日急病診療所については計画期間の第2期（2027年度～2036年度）に複合化を検討することとなっております。また、岩倉市公共施設再配置計画については2026年度に第2期の計画を策定することとしており、施設の方針についても改めて検討をすることとなります。</p> <p>その際に施設が果たす役割やそれによる規模、機能等についても改めて精査し検討していきます。</p>
33	74	第7章 3.再配置計 画案	(1) 青少年宿泊研修施設希望の家の譲渡	<p>他の市町村からの利用も多く、季節や曜日によっては予約いっぱいでは利用できなかったという声も聞きます。宿泊研修施設の他、避難所としての役割もあると思います。利潤追求の民間企業への譲渡ではなく非営利団体への運営を依頼し、今後も利用できる方向で検討していただきたいと思います。</p>	<p>青少年宿泊研修施設希望の家については、夏休みや休日は一定の利用はあるものの、全体として利用状況が低迷している現状があります。そのため、民間活力を活用することで、より市民ニーズに沿ったかたちでの施設運営を検討していきます。</p>
34	76	第7章 3.再配置計 画案	(2) 市立体育館の廃止と岩倉北小学校屋内運動場の新設及び放課後児童クラブの複合化	<p>児童数も多いなか公立体育館として利用するのは、学校行事の妨げにもなり無理があります。屋内運動場の新設には賛成です。また、放課後児童クラブの複合化は安全に利用でき賛成です。</p>	<p>いただいたご意見を参考とさせていただきながら、複合化案について検討していきます。</p>
35	78	第7章 3.再配置計 画案 (2) 市立 体育館の廃 止と岩倉北 小学校屋内 運動場の新 設及び放課 後児童クラ ブの複合化	③再配置にあたっての課題・留意点	<p>屋内運動場を新設する場合、プールは作らないのか。</p> <p>民間のプールを活用するともあるが、そこまで行くのに時間もとられる。それこそ熱中症の問題もある中で送迎などの問題も出てくる。学校に新設するのが児童にとっても教員にとっても一番だと思う。</p> <p>子育てしやすい、住みやすい岩倉とキャッチコピーを掲げているのであれば、教育面での充実は大事だと思う。そこは無くさないでほしい。</p>	<p>複合化案では、現在のプールの位置に屋内運動場を新設するものとなっておりますが、それぞれの施設配置については事業の実施にあたり検討が必要と考えます。また、学校プールの老朽化も進行しているため、学校プールのあり方についても検討する必要があると考えます。</p>

No.	ページ	分類	意見項目	意見の要旨	市の考え方
36	79	第7章 3.再配置計 画案	(3) 北部保育園・ 仙奈保育園の統合 及びあゆみの家の 複合化	<p>小学校生活を楽しく送れるよう、就学までに育てた力をつける保育園はとても大事だと思っています。</p> <p>一人ひとりの子どもに寄り添う質の高い保育が必要です。</p> <p>北部保育園・仙奈保育園・あゆみの統廃合の計画(案)では、今までどおりの保育ができるか不安です。</p> <p>北部保育園の土地活用を改善して今の良い保育を継続してほしいです。</p>	<p>複合化の検討にあたっては、施設の規模や配置等に留意し、市民の皆様からご意見をいただきながら検討していきます。</p> <p>また、複合化を実施した場合においても、これまでと同様の質の高い保育を実施できるよう努めます。</p>
37	79	第7章 3.再配置計 画案	(3) 北部保育園・ 仙奈保育園の統合 及びあゆみの家の 複合化	<p>保育士が保育園内の子ども全員を把握できる人数が良いと思います。統合することで園児が増え、安全管理等も含め保育士と子どもや保護者との心の繋がりも不十分になります。また、あゆみの家との複合化ではメリットもあると思いますが、デリケートな子どもと保護者であることを考えた建物と連携が十分とれる保育士の人数で保育されることが望ましいと考えます。よって統合し複合化する案には反対します。</p> <p>北部保育園の在園児数が今後も伸びないと考えられているようですが、地域に住宅も出来つつあると聞きます。働くママ達は保育園が近くにあって駅も近い住宅を探しています。今後40年以上の長い時間を考えたとき、北部保育園を建て替え3歳未満児室(乳児室)を増やすことで幼児も増えていくと思います。新園舎で清潔、安全、使いやすい施設設備であれば保育園利用のママは増えます。設計の仕方ですら駐車場も十分できる面積であると考えます。</p>	<p>複合化の検討にあたっては、施設の規模や配置等に留意し、市民の皆様からご意見をいただきながら検討していきます。</p>
38	79	第7章 3.再配置計 画案	(3) 北部保育園・ 仙奈保育園の統合 及びあゆみの家の 複合化	<p>北部保育園は名鉄石仏駅に近く、子どもを預けて働きに行かれる方の便利さがあります。また、長年地域の保育園としてなじみがあり、小規模保育園なりのよさを保ちながらきていると思います。</p> <p>統廃合ではなく、北部保育園・仙奈保育園それぞれの存続を望みます。建て替えは今の場所です。</p>	<p>なお、岩倉市公立保育園適正配置方針では、保育園の適正規模方針として公立保育園1園あたりの規模を70人程度～130人程度とすることとしており、大規模な施設とすることは想定していません。</p>
39	79	第7章 3.再配置計 画案	(3) 北部保育園・ 仙奈保育園の統合 及びあゆみの家の 複合化	<p>北部保育園は五条川小学校区唯一の保育園です。まず統廃合の大きな理由の一つである人口問題ですが、市内一緒に考えるのはいかがかと思われれます。特に井上町のあたりは新築が増え将来的にも人口増加が見込まれます。保育園に子どもを預けて石仏駅から出勤される方もあり、場所が変わるのは大変不便になります。駐車場についても以前取得した土地があり問題ないと思います。北部保育園は園庭も広く静かですし規模も保育園としては丁度よいと思われれます。仙奈保育園との統廃合は止めて五条川小学校区に保育園を残してください。</p>	

No.	ページ	分類	意見項目	意見の要旨	市の考え方
40	79	第7章 3.再配置計 画案	(3) 北部保育園・ 仙奈保育園の統合 及びあゆみの家の 複合化	<p>北部保育園の敷地は広く、石仏駅に近く、保育園に子どもを預けて電車を利用して仕事に行くお母さんにとって非常に良い場所にある保育園です。</p> <p>駐車場は敷地の一部を利用できないか。トイレは便座を取り替えることはできないか。現在地での保育園として継続を望みます。</p> <p>保育園の規模は全園の子どもに目がいく規模がよいと思う。保育園の統合で規模が大きくなるのは反対です。</p> <p>いわゆるしやすいをかかげている市として、新しい家が増えているこの土地の将来のために、子どもが身近に通える保育園を残してほしい。</p>	<p>複合化の検討にあたっては、施設の規模や配置等に留意し、市民の皆様からご意見をいただきながら検討していきます。</p> <p>なお、岩倉市公立保育園適正配置方針では、保育園の適正規模方針として公立保育園1園あたりの規模を70人程度～130人程度とすることとしており、大規模な施設とすることは想定していません。</p>
41	79	第7章 3.再配置計 画案	(3) 北部保育園・ 仙奈保育園の統合 及びあゆみの家の 複合化	<p>公共施設再配置計画の中の北部保育園および仙奈保育園の統廃合について意見があります。説明会や個別の話し合いで市の考えを聞き理解できた部分もあり、古い保育園を建て替えていくことには賛成です。ただ統廃合することには反対です。</p> <p>2つの小学校区域の中から間のところに建て替える土地を探すとのことですが、小学校から遠くなり、今までのように小学校に出かけたり避難場所として遠くなるのが子ども達にとって安心安全ではないと思います。</p> <p>建物の老朽化は進んでいるので、各小学校の近くでそれぞれの建て替えを望みます。</p> <p>また、仙奈保育園はあゆみの家も併設されているので、ソフト面をしっかりと考えてからハード面を考えていくべきです。</p> <p>あと土地がないとのことですが、岩倉東小学校が縮小していく予定であれば、岩倉東小学校の土地のなかに仙奈保育園を建て替えることは可能ではないでしょうか。予算も抑えられるのではと思います。</p> <p>あゆみの家の機能は仙奈保育園か北部保育園かハード面ソフト面を考えながら決めていくのでしょうか。</p> <p>限られた予算のなかで、最大限子どものことを第一に考え、親の思いや地域の方の思いに寄り添って計画を立てていってください。そして市民との対話を増やして意見を取り入れてください。</p>	<p>施設の立地については、岩倉市公立保育園適正配置方針に沿って、小学校区を基準に利用圏域を想定しバランスよく施設配置を進めていくことを踏まえ、市民の皆様からご意見をいただきながら検討していきます。</p>

No.	ページ	分類	意見項目	意見の要旨	市の考え方
42	80	第7章 3.再配置計画案 (3) 北部保育園・仙奈保育園の統合及びあゆみの家の複合化	②実現に向けた今後の検討事項	岩倉市公共施設再配置計画（案）の第1期で予定されている、北部保育園・仙奈保育園・あゆみの家の複合化案について、新しい土地を選定してから保護者などに報告、対話していくとお聞きしました。しかしそうではなく、新しい土地の選定から保護者や保育関係者が参加し、関わっていく必要があると思います。よりよい保育施設を維持または作っていくためには、行政主導ではなく市民の参加が必要で（特に岩倉の保育の歴史から）、土地の選定はその土地周辺の環境など保育のソフト面にも大きく関わってくる大事な要素でもあるし、市民参加してつくられた保育施設なら満足度も高くなる可能性があります。もちろん土地の選定以前に複合化や統廃合を望まない意見もあるため、その意見も尊重すべきです。	事業の実施にあたっては、市民の皆様からご意見をいただきながら検討していきます。
43	82	第7章 3.再配置計画案	(4) 岩倉東小学校の規模縮小	規模縮小はどのようにして為されるのでしょうか。建物を一部分壊す、民間企業へ譲渡、図書館や市民が使える施設などの必要施設に作り替えていくなど、いろいろ検討できると思いますが、学校の敷地内や隣接になることを考えて市民の声を聴いていただきたい。	施設の規模縮小については費用対効果も含め検討していきます。また、市民利用の可能性についても、市民サービスの向上が期待できるかという点も含め、市民の皆様からご意見をいただきながら検討していきます。
44	87	第8章 1.公共施設再配置計画 ロードマップ	18 総合体育文化センターの備考欄	備考欄に誤植あり。 保険センター→保健センター	ご指摘を踏まえ修正します。
45	88	第9章	1.今後の取り組み	全般についてよく記載してあると考える。縦割り行政の欠点を排除するための専任部署の設置は極めて重要であるが、当該部署が英断をもってリードすることが不可欠。PDCAの手法と併せて目的への確実な到達が望まれる。	実現性・実効性のある計画とするため、PDCAサイクルによる随時見直しを確実に行います。
46	その他			「公立保育園適正配置方針」には、岩倉型の幼保連携も視野に入るとありますが、幼保連携は統廃合よりもはるかにハードルが高いと感じています。官と民のベストマッチングでより良い保育施設がつけられている例も知っており、すべてを否定はしませんが、本来なら民間の良さであるそれぞれの保育園の独自性が、支援児保育などの人権保育が損なわれている原因になっている例があります。福祉の機能として高い水準を持つ公立保育園のノウハウ、保護者の参加できる組織のあり方など、公私連携を考えると課題が多いと思います。 ・認定こども園への要望の窓口を行政が担えているか ・公立保育園の父母の会連絡会を、認定こども園、幼保連携した園の父母の会と連携できるのか ・官の責任の後退 ・先生の世代バランスが崩れ、ベテランの先生が不足する恐れ ・支援児保育の充実	岩倉市公立保育園適正配置方針では、「公立と私立の保育園、幼稚園との幼児や保育士等との交流を続けることで、「岩倉型の幼保連携」の考え方を保護者に一層浸透させていくよう、相互理解を深めるための様々な機会を設ける必要があります」としています。 また、「公立保育園が担ってきた、「特別な支援を要する子どもへの支援」、「子育て困難家庭への支援」、「公的機関との連携」などの役割を堅持していくものとします」としており、これまでと同様に地域における子育て支援の拠点施設としての役割を堅持していくことができるよう留意します。

No.	ページ	分類	意見項目	意見の要旨	市の考え方
47	その他			<p>公立保育園の統廃合、適正配置方針は広く市民の声を聞いてください。公立保育園はなくさないで充実させてほしいです。老朽化の名での統廃合、民営化には大反対です。</p> <p>公立保育園の乳児保育は働く父母の願いから始まりました。保育内容には積み重ねと歴史があります。一人ひとりを大切にする保育、伸び伸びとした遊びを保証する保育、縦割り保育など保育内容のよさがあります。また、地域の人たちの身近な保育園であってほしいです。縮小ではなく充実を。</p>	<p>保育園については施設の更新時期に合わせて統廃合を検討していきますが、これまでと同様に地域における子育て支援の拠点施設としての役割を堅持していくことができるよう留意します。</p>
48	その他			<p>2019年1月10日、公立保育園適正配置方針が決定されたとお聞きしました。2月に行われるこのパブリックコメントより前になぜ決定されてしまうのか、疑問です。広く市民の意見を聞いてから決定してほしいという内容を含めた、岩議発第693号「公立保育園の適正配置・適正規模の方針案の基準見直しに関する請願」が372名の連盟請願で提出され、「趣旨採択」をいただきました。また、公立保育園適正配置方針（案）の決定の見直しを求める4400名を超える署名も2018年7月に市長に提出されています。このような市民の意見、議会を軽視するような決定のされ方は納得ができません。</p>	<p>岩倉市公共施設再配置計画の策定にあたり、保育園の方針を検討する必要があるため、2019年1月に岩倉市公立保育園適正配置方針を策定しました。</p> <p>岩倉市公共施設再配置計画（案）のパブリックコメントについては、岩倉市公立保育園適正配置方針の決定を踏まえて実施したのになります。</p> <p>なお、事業の実施にあたっては市民の皆様からご意見をいただきながら実施していきます。</p>
49	その他			<p>パブリックコメントが締め切られる前に計画が策定されたと聞き、とても驚いたとともに裏切られたような気持ちです。前に保育園でお話を聞いたときにはパブリックコメントを聞いてから、策定するとのことだったと思います。</p> <p>パブリックコメント前に決定した理由、経緯をしっかりと説明してほしいです。市民に対する説明責任があると思います。私自身は今の岩倉市の保育環境にはとても満足しております。</p> <p>それは今までに市と親と地域の人達で作ってきたものだ感謝しています。この再配置計画で今以上に保育環境が良くなることを望みますし、協力していきたいです。</p>	<p>岩倉市公共施設再配置計画の策定にあたり、保育園の方針を検討する必要があるため、2019年1月に岩倉市公立保育園適正配置方針を策定しました。</p> <p>岩倉市公共施設再配置計画（案）のパブリックコメントについては、岩倉市公立保育園適正配置方針の決定を踏まえて実施したのになります。</p> <p>なお、事業の実施にあたっては市民の皆様からご意見をいただきながら実施していきます。</p>

No.	ページ	分類	意見項目	意見の要旨	市の考え方
50	その他			<p>総括的にはよく検討された具体的な提案であり、特に異論はない。ただし岩倉市の人口見通し、国内外の経済変化、「南海トラフ地震」などを想定したとき、40年間の計画と実態が相違することは否めない。</p> <p>現在策定中の第5次総合計画をはじめ、5か年ごとに予定されている本再配置計画の綿密な見直しなどで確実に成果が出せるよう希望する。</p>	<p>計画の見直しにあたっては、見直し時点での社会情勢や市民ニーズ等を考慮し検討していきます。</p>
51	その他			<p>施設等の利用申込みを統合できないか。</p>	<p>利用者が基本的に地区住民に限られる集会施設・学習等共同利用施設については、区に利用申込みをすることとなりますが、生涯学習センターや総合体育文化センターなど、広く市民が利用する施設については、施設予約システムを利用して利用申込みをすることが可能となっています。</p>